

感染性胃腸炎に注意

主にノロウイルスによる感染性胃腸炎が2月になって全国的に増加しています。感染した人が調理したことによる食中毒事件も各地で発生しています。大阪府では2月16日までの1週間で定点あたり7.80人(前週7.28人)となっており、同時期に大阪市内で10件の10人以上の集団発生が報告されています。行政が把握できていないことも多く、実際にはもっと多いものと推定されます。

ノロウイルスのキットによる抗原検査も可能ですが、保険適用になるのが3歳未満または65歳以上の患者、悪性腫瘍や免疫抑制剤使用の患者などに限られており、検査には採便をする必要もあるうえ、インフルエンザのような抗ウイルス薬もないため、医療機関を受診されていないことも多く、実際にはもっと多くの患者がいる可能性もあるでしょう。

新型コロナウイルスは2月16日までの1週間で全国で5.15人(前週5.82人)、大阪府3.09人(同3.99人)と冬の流行としては今のところ低レベルです。

年末に大流行したインフルエンザですが、2月16日までの1週間で定点あたり患者数は全国で2.63人(前週3.78人)、大阪では1.83人(同2.35人)と終息に向かっているようです。2~3月にはB型のインフルエンザが流行する年も多いのですが、今のところその兆候は見られないようです。

ノロウイルスの二次感染予防～排泄物や吐物処理に注意～

ノロウイルスやロタウイルスは感染力が強く、乾いた場所では約10日(最長2か月)生きています。石けんや消毒用アルコールにも強いので、塩素系漂白剤(ハイターやブリーチなど次亜塩素酸ナトリウムと表記してあるもの)や哺乳瓶用の消毒液などで消毒しなければ死滅しません。便や嘔吐物には大量のウイルスが含まれていますので、汚物の処理をするときは、使い捨ての手袋、マスク等をしてください。

- 1 汚染場所に人が近づかないようにし、大きく窓を開けるなどして換気します
- 2 使い捨て手袋とマスク、エプロンを着用します
- 3 嘔吐物は、使い捨てのペーパータオル等で外側から内側におけて、静かに拭き取ります
- 4 使用したペーパータオル等はすぐにビニール袋に入れます
- 5 嘔吐物が付着していた床とその周囲を0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染み込ませたペーパータオル等で覆うか、浸すように拭きます
- 6 使用したペーパータオル、手袋等はすぐにビニール袋に入れ、0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染み込む程度に入れ、消毒します
- 7 ビニール袋の口をしっかりとしばります
- 8 処理後は、しっかりと手洗いをします

